

中 日 ニ ュ ー ス

シ ネ ス コ 版

高 新 = 2-2 No. 412

新 登 壇 = 2-2 No. 240

No. 577

40.2. -5

一、夏を売り出す

—東京 埼玉—

立春とはいえまだまだ寒い二月。だが流行の世界はもうすでに夏の陣。夏の海をいろどる水着のファッションがたけなわです。

先手必勝とばかりに業者は寒がるモデルさんの気も知らばこそ。思い切り背中を開けたいともすずしげな水着をご披露。名づけて、バックレス。

夏を待ちきれないのは都会のカップどもも同じこと。温水プールはいつも満員の盛況のようです。

一方東京の下町にある染物屋さん。いまこはゆかた地の柄染めに大童。一月から七月までが最盛期なのです。

こちらはまた気の早い鯉のぼりづくり。ご時世からか団地用規格サイズの鯉のぼりの注文が殺到しています。だがなんとといっても二月、寒風の中に泳ぐ鯉のぼり心なしか元気がないようです。

カメラ・ルポ

一、下請け農民

—長野—

352

長野県の北部、戸隠の峰々。その山間に雪にうずもれ、ひっそりと点在する戸隠村。

この地方は南より北に高い地形が農業の伸展を極度に阻んできました。

そして、日本中の農家が雪崩れのような努力不足に悩んでいるように此処でも「三ちゃん農業」に泣かされているのです。

この不可避な難題が、此処では安い労働力を農村に求めて飽くなく「高度成長」と、頭打ちにきた農業所得、消費水準の上昇など現金支出の激増が異様な調和を形づくっています。

それは大企業の下請けの下請けという形で現われてきたのです。

そして村の主産物といわれる葉煙草に次ぐ大きな現金収入源となつて、主婦達の間で大切に受けています。

そこには時代の先端を行く近代的工場のおもかげは見られません。土くれた手で細い部品を作っていく農民の姿は日本農業の貧しさを物語っているようです。

624F

272

制作・配給

中 日 新 聞
北 陸 中 日 新 聞

東 京 中 日 新 聞
中 日 映 画 社